

平成27年

6月定例会

報告事項

群馬県総合スポーツセンター伊香保リンクにおける設備の破損、市道におけるマンホールふたの跳ね上げによる車両への損傷、それぞれの事故に対し、和解及び損害賠償の額が成立したと報告がありました。また平成26年度的一般会計繰越明許費繰越計算書をはじめ、渋川市介護保険特別会計繰越明許費繰越計算書などの報告が5件ありました。

税条例の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正及び規定の整備が行われました。

他地方団体へのふるさと納税が5団体以内であれば、確定申告を行った場合と同

市立学校設置条例を改正する議案は継続審査に

あらまし

平成27年度6月定例会は、6月12日から24日まで、13日間の日程で開催されました。市長専決処分などの報告7件、条例の改正・人権擁護委員候補者の推薦や補正予算など18議案が提出され、各常任委員会へ付託後、審査が行われました。学校再編に係る条例改正の1議案は継続審査となり、その他17議案は、いずれも原案どおりに承認・可決、議員提出議案2件も可決されました。

額の寄付金控除を簡易的に受けられる特例的仕組みの創設、固定資産税課税標準の特例に係る改正、1年間の延期措置が執られていた軽自動車税の税率引き上げに伴う改正、旧3級品の製造たばこに係る特例税率の段階的廃止について、全員一致で承認されました。

国民健康保険税の賦課限度額引き上げを行い、低所得者に対する国民健康保険税の軽減を行う改正は、賛成多数で承認されました。

請負契約の締結

豊秋小学校校舎耐震改修工事（2期建築主体工事）は2億3976万円での契約締結は可決されました。附帯する機械設備工事・電

気設備工事も契約は締結され、工期は平成28年2月12日までです。



1期工事が終了した南校舎

消防救急デジタル無線登録局及び受令機の取得

消防団無線を更新し、円滑な消防活動を図るため、整備計画に基づいての取得です。9月30日までに消防

署や消防団及び市役所に設置・配備されます。取得金額は2376万円です。

小中学校再編統合

渋川市立学校設置条例を改正する議案について、学校再編に伴う子持中学校と小野上中学校の統合及び津久田小学校と南雲小学校の統合後の名称を赤城北小学校と定めるとしましたが、慎重な審議が必要のため継続審査となりました。

補正予算

一般会計は6億2168万3000円を増額補正するもので、主な歳出は都市公園等改修事業や社会保障・税番号制度システム整備事業、畜産競争力強化対策整備事業等です。賛成多数

で可決されました。

人事案件

平成27年9月30日の任期満了に伴い、人権擁護委員に原口利平氏（行幸田）、萩原登氏（金井）、青木宣雄氏（有馬）、猪熊正道氏（中郷）、佐藤義一氏（横堀）の推薦が同意されました。

議員提出議案

市議会の男女共同参画を推進するための議案を全員一致で可決、市民生活に支障をきたしているスラグ碎石使用箇所の早期の措置を求める決議を賛成多数で可決されました。



閉鎖されているスカイランドパーク第4駐車場

スラグ碎石使用箇所の早期の措置を求める決議

要旨

スラグ碎石使用箇所については、現在までに72か所の報告がされている。

対策として「優先の度合いを検証し順に措置をする」こととなっているが、それについての報告には現在まで至っていない。

市民からは、生活や使用に支障が出ているとの批判の声が多く寄せられている。議会としては、優先順位を明確にするために措置計画を直ちに策定し報告すること。また早期に具体的な措置を強く求めるものである。

理由

市民生活への影響を最小限にとどめるため。

常任委員会の審査

本会議から付託された議案の審査の主な内容は次のとおりです。

総務市民

財産の取得について

これは消防無線の広域デジタル化に備えて、消防団の無線をデジタル化し、各消防団へ携帯型無線機などを配備するものです。全会一致で可決されました。

洪川市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正をするものです。たばこ税については、旧3級品の製造たばこは特例税率を段階的に引き上げ、廃止するものです。本市では、たばこ税は毎年5割程度減収しているのので、今後も減収が見込まれます。全会一致で可決されました。



教育福祉

洪川市立豊秋小学校校舎耐震改修工事（2期建築主体工事）請負契約の締結についてと洪川市教育研究所設置に関する条例の一部改正は全会一致で可決されました。

洪川市立学校設置条例及び洪川市学校給食共同調理場条例の一部を改正する条例は、津久田小学校と南雲小学校の統廃合によって校名を改名するものです。合同地区委員会では、学校名が決まらず教育委員会に一任されたことから、教育委員会では「赤城北小学校」に改名する議案を議会に提出し、議決後に住民には説明をするとのことでした。

委員会では、合同地区委員会に報告し、「住民の理解を深める必要がある」として継続審査となりました。

予算常任委員会の審査

補正予算の主な内容は、社会保障・税番号制度システム整備、スカイランドパーク観覧車乗り力等交換修理、畜産競争力強化対策整備事業等で、全議案とも原案のとおり可決されました。

歳入

質疑 税番号制度システム整備について詳細は。

答弁 税の公平な負担、社会保障の公平、災害時の公平な保護等の3点です。個人情報等のセキュリティ等について国でも行っているように、本市もしっかり行っていくきます。

質疑 プレミアム付き商品券販売について販売状況と参加店数は。

答弁 6月19日現在で6395世帯、セット数は1万7575セットを販売し、参加店485店です。

土木費

質疑 スカイランドパークの今後の運営方針は。

答弁 施設管理公社自体がスカイランドパークを魅力ある施設にするよう検討をお願いしていきたい。

農林水産業費

質疑 畜産競争力強化対策事業の内容について。

答弁 赤城橘畜産クラスター協議会を設立する。構成は農業経営体2社と2戸、獣医師の会社1社、農協が事務局となっています。事業費は約4億円で、施設整備により構成員の規模拡大を図っていきます。目標は3年後には経営規模を倍に拡大する計画です。

下水道事業特別会計

質疑 下水道事業補助金、社会資本整備総合交付金の減額について。

答弁 社会資本整備の効果促進事業の一部廃止をする連絡が国から県を通じて4月9日にありました。補助金の足りない部分を起債に振り替えて実施をしたい。